

東海大学付属諏訪高等学校

PTA会報

発行：東海大学付属諏訪高等学校 PTA

編集：会報委員会

印刷：(株)美膾堂



東海大学付属諏訪高等学校

PTA会長 黒澤俊彦

PTA活動について「コロナ禍にあつて」

秋涼の候、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る、六月のPTA総会におきまして、二〇二〇年度PTA会長を仰せつかりました黒澤と申します。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休校により、学校生活や行事はもとより、PTA活動も自粛や中止を余儀なくされ、PTA総会も書面とさせていただけました。未だに感染防止対策に重視が求められますので、新しい生活様式での日常生活には、子供たちも保護者の皆様も不安なお気持ちには緒だと思えます。もちろん私もその中のひとりではありますが、役員・会員の皆様のご理解を頂き、微力ではありますが、教職員の皆様方のご協力のもと、会長の職を務めて参りたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

東海大学付属諏訪高等学校は、一九六三年四月、東海大学創設者、松前重義総長が目指す教育のために、日本全国を網羅する付属高校の整備、拡大の先駆けとして、日本の真ん中の諏訪の地に設立を決議され、東海大学第三高等学校が創設されたとお聞きしております。

創設以来半世紀有余の間、社会環境の変化や苦難の時代を乗り越え、文武両道はもとより、一貫教育と豊かな人間

教育の実践を通じ、県下私学のなかでも注目される、存在感のある学校として活躍し続けていますことは、ご承知の通りであります。

高校生活は、社会人としての準備期間であり、小、中学校とは違い、人間として番成長する大事な期間であります。人生の中で、高校三年間に経験した沢山の出来事や学んだ事が一生忘れられない時間になることは間違いありません。

こうした大切な時間を保護者として、精一杯の応援をしていける環境を、地域社会や学校で作って行かなくてはならないと感じております。

これからも「建学の精神」のもと、子供達の無限の可能性の拡大、夢の実現に向けての支援を継続し、PTA活動を皆様との情報交換を行う場として広く活用頂き、子供達の更なる成長を見守り、コロナ禍にあつて新たな活動形式を模索し、より一層の教育環境へのサポートを行っていきたいと考えております。

最後になりましたが、役員・委員同、学校・地域と更なる連携を図りながら、東海大学付属諏訪高等学校が今後、益々発展していくことを願い、一生懸命取り組んで参ります。会員の皆様の温かいご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



ソーシャル・ディスタンス

東海大学付属諏訪高等学校

校長 中村 正幸

何か洒落た言葉のように聞こえる。言葉から受ける印象は素敵な響きである。今年この言葉は間違いなく「流行語大賞」にノミネートされるだろう。しかしながら皆さんご存じのように、このワードはそう、今年の初めから我々を恐怖に陥れた「新型コロナウイルス」対策として登場した「新語」なのである。この作文の宿題を頂いた時には何を書こうかという悩んだ。悩んだ末に（締め切り一日前なのだが）今年はこの話題しかないような気がしている。参考に頂いた昨年のこの会報の最後には建学祭の様子や各クラブの活躍などが記載されている。これが「いつもの日常」だったのだと今思うのである。今更ながら「いつもの日常」が、いかに素晴らしいことだったのかを痛感するのである。ましてや高校生の皆さんにとって、仲間と集う学校、ライバルと競るクラブ活動、眠いの我慢しながら必死で受ける授業。そのような「いつもの日常」が突然未知のウイルスによって奪われたのである。私自身が高校生だったら、高校三年生だったら、と考えると本当に耐えられないような、辛くて悲しい日々だったと思うのである。

「大人も大変だよ」って大阪の友人が呟いていた。そう、このウイルスが経済に与えた影響は、計り知れないのである。飲食関係に従事されている方などはじめ、本当に多くの方が大変な状況になったのである。この会報を作成していただいている保護者の皆さんも本当に大変な思いでお仕事をされているのではないかなと感じるのである。突然出現したこの感染症によって我々はそれぞれ、恐怖のどん底に叩き落とされたのである。この現象から生まれた言葉として「ソーシャル・ディスタンス」という言葉はあまりにも美しすぎる響きであると感じるのは私だけだろうか。「正しく恐れる」これから我々がやらなければならないことは、まさにこういうことであると思う。

感染防止を徹底しながら教育活動、行事等を生徒たちの負担に「たえながら遂行することである」と思う。「ウィズコロナ」という言葉はあまり好きな言葉ではないが、日本の社会が目指す感染防止と社会経済活動の両立と同じように、学校は教育活動と感染防止対策を両立させながら、生徒諸君の充実した高校生活を支えていかなければならないのである。「降りやまない雨はない」そう信じながら我々は進まなければならないのである。まだまだ出口は見えない状況ではあるけれど、「今自分ができていることを全力でやる」「今こそ「諏訪っ子」のスピリットである」「こたれない」精神を発揮して生き抜いてほしいと思います。最後になりましたが保護者の皆様におかれまして、このようなコロナ禍のもと本校教育活動にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。感染防止に最大限注意しながら、行事との両立を心掛け教育活動を遂行して参りますのでご理解よろしくお願いたします。

新任職員紹介



副校長代行 酒井 孝允 先生

保護者の皆様には、日頃学校の様々な活動に、ご理解とご支援を賜りまして感謝申し上げます。この四月に付属浦安高等学校から赴任しました酒井孝允と申します。

本年度は、三九名の新入生を迎えることができました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で入学式も中止となり、新しい制服に身を包んだ新入生も残念な気持ちと、その後も学校再開まで生徒は不安な気持ちで一杯だったと思います。現在

は、学校生活に対する期待が溢れ出ております。さて、元号が「平成」から「令和」に移行し、新しい時代の幕が上がりました。学校においても時の流れとともに変革するものと残すものを明確にして、次世代につなげる施策に取り組みで参ります。同時に、本校のコンセプトである「諏訪から世界へ」自ら興味・関心のある学習の充実とグローバル教育の推進を図り、生徒一人一人の夢実現を図る学校としてスピーディな改革が求められております。今後も、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



国語科 工藤 陽市 先生

今春よりお世話になっております国語科の工藤陽市と申します。どうぞよろしくお願いたします。

昨年度まで神奈川県公立高校で長く勤務してまいりました。原村に新しく生活を移し、御縁をいただき諏訪高校に勤務させていただきましたことになりました。

昨年の中村校長先生のご挨拶と同様にこちらの環境のすばらしさに日々心打たれています。周囲には、日本を代表する名山がそびえ、そこから湧き出す水の美味しさと澄んだ空気、肥沃な大地から産まれる野菜果物の美味しさと、縄文期より長い時間をかけて育んできた諏訪地方の独特の文化など日々新鮮な発見をしています。担当する国語の授業ではICTをこの歳で初めて使う機会を得ました。これまで数十年続けてきた授業方法を変えて取り組んでいます。利便性の良さから説明に専念しがちですが、如何に生徒と一緒に授業を作り上げていくかを課題として取り組んでいきたいと考えています。



国語科 八嶋 弘 先生

定年退職後、思いもかけず、復職することが出来て幸甚です。新たな思いを以て教壇に立ち、生



理科 森 遼介 先生

徒諸君と共に学びに勤しむ時に、ある思いに泥む自分を発見する時がある。それは、教員になりたての頃、松本で或る教員研修会で一人の老練な教師の講話を聴いた折のことです。「教師といふものはたとい、大勢の生徒の中で、たった一人の生徒しか耳を傾ける者がいなかったとしても、その生徒のために意気阻喪せず励むべきである。教育とはそういうものだ。」という趣旨の講演が私の心に突き刺さった。「そんな不経済なことが教育の根幹になろうはずがない。これは幻想にすぎない。教育とは、より多くの生徒たちに、より効果的に優れた内容を伝えることではないか。」という思いが、当時の私の心に油然として湧き起った事であった。以来、四十有余年を聞き、鬱勃として心に踞れ来たるものは、「一人の生徒・二冊本」なのである。

本年度よりお世話になっております、森遼介と申します。教科は理科、部活動では科学部の顧問を担当させて頂いております。

私は今春大学院を修了し、縁あって東海大学付属諏訪高等学校で勤務させて頂くこととなりました。大学院では、科学教育を専攻し、教育現場で安全に行うことのできる実験教材の開発を目的に研究に励んでおりました。教員となった現在では、その過程で培った知識や経験をもとに、生徒が日ごろから体験している科学現象やその原理について興味や関心を持ち、楽しく学習できる授業を目指しております。

高校時代は、その後の進路に向けて勉学や部活動に力を入れていく時期であるのと同時に、今後一生付き合っていく友人たちと出会う時期でもあります。そんな大切な時間を過ごす生徒の助けとなるよう、微力ながら尽力していく所存でございます。新任教員のために至らない点も多々ありますが、私自身これから成長していきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願致します。



理科
丸山 満久 先生

今年度よりお世話になっております、理科の丸山満久と申します。担当教科は理科で、一年生の生物基礎と、二三年生の化学を担当しています。縁あって三十歳という区切りの年齢に、長野県内の公立高校の講師から、新しい環境で勤めさせていただくことになりました。

幼いころから教員という仕事には興味を持っていました。ですが、実際に勤めてみると、「教員とは、生徒とともに成長していく仕事である」と、そのとらえ方が変わりました。生徒に教えるだけではなく、生徒の物事への取り組みから教員自身が学ぶことも多くあります。特に、今年度は、慣れない中でも今できる精いっぱい勉学してきた生徒の姿が、環境の変化に負けそうになっていた自分の強い支えになってくれました。

生徒がより深い学びをする手伝いをするための工夫をしつつ、生徒からも様々なことを学び続けて、自他ともに成長できる教員であるよう、精いっぱい取り組んでまいります。よろしくお願いたします。



地理歴史科・公民科
大和 則祥 先生

学生以来の電車通勤、松本から通っています。電車では、いろいろな制服姿や私服の高校生と一緒に帰りの茅野駅では、挨拶をしてくれる生徒もいます。皆さん元気があり頼もしい限りです。

私の顔写真を見ておわかりの通り、年を重ねていますが、教員になって3年目です。以前は、自治体の職員として定年まで勤め、その後、松本国際高等学校に勤務をしました。

引き続き、本校に採用されましたが、毎週水曜日は、松本国際高等学校の教壇に立っています。



数学科
石井 達人 先生

本校では、地理歴史科と公民科の授業を二年生から三年生まで担当しています。「借りたい金は、返すのが当たり前」、これは、ドラマ「半沢直樹」の台詞です。三年生の政治経済の「国債」のところを紹介しました。今の高校生は何に興味を持っていくのでしょうか。生徒の興味を引く授業ができるよう、時事問題やテレビドラマ等を引用しています。コロナ禍の今日、マスクで生徒の表情を確認できないのが残念です。でも、マスクに隠れた表情を読み取れるよう努めてまいります。よろしくお願いたします。

本年度数学科の講師として採用されました石井達人と申します。名前が達人なので時折「何の達人ですか?」と尋ねられますが私は「平凡な達人です」と応えています。実は、二〇〇七年三月まで本校で三十四年間在籍していましたので今回のご縁には非常に考え深い思いで一杯です。速くから見ると本校は変わらぬたずまいで懐かしさ一杯ですが一歩中に入ると、生徒の制服は変わり職員もフレッシュな若者が多くなり、教室のIT機器も一新され全く別な学校に変貌してびっくりしました。そんな中で、振り返る余裕もいま半年

余りがあつという間に過ぎてしまいました。ここに赴任する前までに付属高輪台高校、県立高校と色々な学校を務めて来ましたが、やっぱりしつくりくるのは長年の伝統になじんできた「東海三高」いや「東海大諏訪高」なのだ改めて認識したのでした。その変遷を黙って見守ってきた登校坂のケヤキの木に鎮守の森を見たのは私だけではありません。



養護教諭
原田 紗季 先生

本年度より養護教諭としてお世話になっております、原田紗季と申します。昨年度までは、福

井県、石川県の大学で、看護師免許の取得や学校保健、健康教育について学んできました。出身地である長野県に帰ってくるのができて、私が小学生の時から将来の夢として挙げていた養護教諭として勤務できて、とても嬉しく思っています。

私の養護教諭としての勤務の幕開けは、新型コロナウィルスの対応でした。前例のないコロナウィルス予防への対応と、それに伴う休校で生徒に会えず、休校明けまでの二か月間はとても不安でした。しかし休校が明け、生徒たちの明るく、元気な姿を見て、養護教諭としてこの明るく、元気な生徒たちの健康を支えていこう、守っていこうと強く決心いたしました。

まだまだ未熟ですが、生徒に寄り添い、共に学び、成長していきたいと思っております。よろしくお願いたします。



英語科
松元 優子 先生

今年度よりお世話になっております、英語科非常勤講師の松元優子と申します。昨年度までは諏訪地区の公立高校に勤務しておりました。東海大学付属諏訪高等学校の立派な校舎、大勢の生徒たちを前に、初めはとても緊張しましたが、最近ようやく学校の雰囲気にも慣れてきました。教室でも廊下でも明るく挨拶をしてもらい、毎日元気をいただいております。また、クラブ活動に加え授業でも懸命に努力をしている姿を見て感心しております。

中学生の頃、私はアメリカの中学生と文通を始めたことがきっかけで海外に興味を持ち、高校生の時にアメリカに留学しました。大学卒業後は、ニュージーランドの大学の語学研修に参加して、様々な国の人々と共に英語を学んだり、ワーキングホリデー制度を利用してカナダを訪れ、大陸をバスで横断し「赤毛のアン」の舞台であるプリンスエドワード島にも一か月間滞在したこともあります。海外



保健体育科
牛丸 敦貴 先生

本年度から保健体育科担当としてお世話になっております、牛丸敦貴と申します。昨年度までは、愛知県名古屋市の公立の中学校に勤務していました。

新しい土地で不慣れで不安もありましたが、優しい先生方のサポートや、明るく元気な挨拶をしてくれる生徒たちに元気をもらい、今は本校で勤めさせていただけることを誇りに思います。

私は中学時代から大学卒業までハンドボール部に所属しておりました。その甲斐もあり、本校でハンドボール部の男女の顧問として指導させていただいています。ハンドボールは未だマイナーな競技ではありますが、ハンドボールほど人間性や仲間との連帯感を高めてくれるスポーツはないと自負しております。そして、私はいかに部員全員をまとめあげ、それぞれの特性を伸ばし、チーム全体としてのパフォーマンスを向上させるかに血と汗と涙を流していきたいと考えております。

私が教員を志したのも、これまでハンドボールから培った経験を最大限に活かすことができる職業であると考えたからです。人間をいかに成長させるかは、スポーツでも勉強でも根本は同じであると思います。情熱と体力ではだれにも負けません。将来ある生徒たちの成長を力強く後押し、時には引っぱり上げ、生徒に寄り添い、生徒と共に成長していけるように日々精進していく所存です。よろしくお願致します。



保健体育科・地歴公民科
横井 宏典 先生

本年度よりお世話になっております、横井宏典と申します。昨年度まで六年間、付属福岡高校に勤務しておりましたが、ご縁をいただきこの茅野の地にやってくる事ができました。綺麗な校舎・心地よい気候・温かい先生方・素直で明るい生徒、恵まれた環境の中で教育に携わることができると感謝致します。

これまで六年間教育現場に携わらせていただく中で、「教育」の原点は「今日行く」であると耳にしたことがあります。生徒が心弾ませて今日も学校に行きたいと思える環境づくりが教員の役割であり、その環境づくりに励んでいきたいと考えております。

また、人生は出会いの連続です。「どんな進路を選ぶか」も大切ですが「そこで誰と出会うか」が最も大切だと思います。諏訪高校の生徒にとってその「誰か」となれるよう私自身も日々勉強していきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。



事務長
佐々木 潤 先生

独暮して荒れた部屋から目を背けた現実逃避も限界となった三月最後の2日間、引越し作業の殆どを中二になる娘の世話になり、どうにかこうにか辿り着いた信州の地。

耳にする単語の半分はコロナではなからうかと思うくらい異常な状況下でそととフェードインさせて頂き、四月から事務室でお世話になっております佐々木潤と申します。

私が最初に受けた当校の印象は、実直で優しい教職員と礼儀正しく真面目な生徒さん。

半年以上経った今も変わっておりません。きつと県民性もあるのでしょう。運転能力が欠落している私が、何とか車通勤を続けていられるのは、優しく道を譲って下さる地域の皆さんのお陰です。(駐車場や街中であたふたする茶色のアルトを見かけても、どうかそつとしておいて下さい。)



「カウントダウン」

原地区 小林 美智子

息子がいます。現在、高校三年生。来年の四月から他県で一人暮らしをします。一緒にいれる時間のカウントダウンが、うちでは始まっています。カウントは、あと何ヶ月。月が変わったり、学校の送迎時の会話で「あと、六ヶ月だね」と話しをします。

私は、とても不安でしかない。悪い事に巻き込まれたらどうしよう。東京が近いから、都会に染まってしまふらどうか。朝、起きれるだろうか。色んな事を今から心配しています。が、逆に子供は、楽しみで仕方がないみたい。どんなアパートに住もう。どんな家具を置こう。バイトはをしよう。そして、貯金もしようと。楽しみは、ふくらむばかりです。楽しそうではないなと思っています。

新型コロナウイルスにより、修学旅行の中止、部活の色々な大会の中止、学校休校、学

園祭の中止。とても悔しかったと思います。これから、友人達と高校生活最後の年に色々な思い出を作ろうとしていた矢先、新型コロナウイルスによって、思い出を作る行事が全て中止になり。。。本当に、ふざけんなって。ただこの新型コロナウイルスにより、当り前の日常がどれだけ幸せだった事か、又、実は、当り前だと思っていた日常は、とても貴重でかけがえのない時間だったのではないかと感じて欲しいかなと思います。

淋しいと思いますが、もう少ししたら、親元を離れていく事になります。

悲しい思い、悔しい思い、納得いかない事、自分ではどうにも出来ない場面がこれから先、また、あると思います。でも、それを乗り越えた先には、少し成長した自分がいると思います。この不自由な日々を楽しく過ごせる様に、色々な事をまずは受け入れ、自分なりにスタイルを築き、がんばってみたい。

「カウントダウン、あと六ヶ月」

「これまで、これから」

東部地区 西澤 尚子

令和二年が始まった時には夢にも思わなかった。未曾有の状況で生活が一変してしまい、当たり前前の生活もままならない生活が続いています。

そんな中リモート授業や配信課題など、学校側の対応もご苦労があったかと思えます。不幸中の幸いと言うか『今がネット社会で良かったなあ』と本当に思うところ。子供たちの順応は早く、友人としゃべりながら課題をこなしたりゲームをしたりと不便はないように見えます(むしろ楽しそう・・・)

ネットといえば数カ月前に我が家のモニターを最新のものに替えました。55の対応型

(意味はよく分かってないけど・・・)で速度も速くなり快適です。

良いのか悪いのかオンラインゲームもスムーズに操作できるみたいです。来年開催される東京オリンピックも今までと違う観戦方法ができそうで楽しみです！

もはや在宅でなんでもできてしまう世の中ですが、子供には人との繋がりは築いてほしい。やはり学校という場は特別で、一度に何十、何百人という人達と知り合える機会は学校くらいしかない。社会に出たらそうそう無いでしょう。だからこそ、この時間にはできないことを楽しんで学んでもらいたい。高校生ともなれば自立に向かい親の出る幕はなくなっていくと思います。ご飯を作って、送り迎えして。自分の作ったご飯、後何年何回食べさせてやれるかな。アナログながら息子のバックアップをしていこう。

「変化」

長峰地区 茅野 美保子

現在は新型コロナウイルスの流行により、子供たちも様々な制限の中の生活が続いています。

このような状況によって、これまでに経験をしたことがない変化に日々驚いています。

先日、子供が休日にZOOMを使って友達とビデオ通話をしたそうです。また、東京の大学へ進学した息子は、毎日茅野市の自宅からZOOMを使ってのリモート授業を受講しています。新型コロナウイルスが流行する前は、ZOOMというものがあることさえ知りませんでした。実際に会って話すことができない中でもコミュニケーションを取ることができるといのは非常に便利なものだと思います。このように対面ではなく、遠隔で

様々なことを行うというのは若い人たちだけの話ではなく、世界中でリモート会議やリモート飲み会といったものが行われています。以前は対面で行うのが当たり前だと思っていたことが、遠隔で行われることに少し不思議な感じもありますが、新型コロナウイルスによって社会が変わりつつあることを実感します。

また、飲食店でもできるだけ人との接触がないように、順番を全て機械で管理し、注文もタブレットで行う店が増え、以前よりも店員による接触が減ったように感じます。このこと以外にも様々なところで大きな変化があり、教育の場面でも以前とは違うことがたくさんあると思います。

特に受験生のみなさんはこの変化に適應するのはとても大変なことだと思います。しかしながら、高校生のみなさんには是非ともこの変化に対応し、そして将来には新たな変化を作っていくてもらいたいと思います。

「息子へ」

北部地区 宮坂 敏

高校生活も半分終わろうとしています、親として新たな息子に頑張ってもらいたいこと、まずは「自信を持つて取り組むこと」です。高校入試に合格するために、家族や中学の先生など周りの大勢の人がいろいろとつくってくれました。有り難いことです。でも何よりも自分が頑張ったこと、そのことが高校に合格できた一番の要素でした。自分の力に自信をもつて下さい。そして失敗すること、不安に感じることも多々あると思いますが、それらを恐れることなくまっすぐ前に進んで下さい。新しいことにもチャレンジして高校生活をエンジョイしてほしいと思います。

高校生活で学んでほしいことの二つ目は「自立」です。

一人前の人間として自立するということは、全てを自分の力でできるようになると思われがちですが、実はそうではないと思います。自分で自分を観察する力を磨き、自分自身をよく知ること。そして、得意分野を生かし、苦手な部分に関しては、努力すればできることは目標を持つて努力し、出来ないことは援助してもらおう。これが社会における「自立」だと思います。

高校では得意な分野を伸ばし、さらに自信をつけましょう。学校行事なども自分ができるところは力を惜しまず協力しましょう。苦手な部分は先生や友達に教えてもらったりして助けをもらいましょう。また一人ではできないことでも大勢で取り組めばできることもあります。

こうしてお互いに助け合うことでよりよい学校生活、よりよい社会生活ができると思います。何年後には自分の得意な分野を生かして社会で活躍できる人になってください。

「成長に感謝」

中信地区 岡本 瑞恵

月日の経つのは早いもので、娘の高校生活はあと半分の1年半となりました。思い返せば小5から始めたミニバスケット、土日の練習や大会に親も一緒に忙しい日々を過ごして気が付けば中学3年。夢中でやってきたバスケットを続けたい、「うまくなりたい」と決断したものの、今までは違い激しい時間を過ごすようになること、通学も楽ではないこと、相

当の覚悟が必要なこと、親としては心配の方が大きかったように思います。ただ、本人が「東海に行きたい」と決断したことに、誇らしくもあり、その覚悟を応援する楽しさがあったことを思い出します。今はそんな新鮮な気持ちとは裏腹に毎日眠気と戦う日々を想像したでしょうか。「間に合わない」の娘の言葉に

腹を立てながら弁当を詰めることまでの覚悟の甘さを痛感しています。

今年は昨年から新型コロナウイルス感染症の影響で遠征や大会が次々になくなり、さらに休学までも。当たり前前の生活すらままならない状況の中、「やっぱりバスケットがしたい」と口に出した一言に少し安堵したことを覚えて

います。今だからこそ娘自身が置かれている状況をどう捉え、考え、自分を知ること、その経験ができること、本当に感謝しています。欲しいものがあるならそれを手に入れるだけのことをする必要があり、今やれる努力を一生懸命やってほしいと思います。毎日ご指導いただいている先生方には感謝申し上げます。そして、後輩や厳しい世界で戦う娘を我が子のように気にかけてくれる人がたくさんいること、一人ではないことに感謝しながら過ごしてほしく願うばかりです。

最近では遠く感じていた諏訪インターも近くに感じてしまふ錯覚にも笑ってしまいます。身近にある東海大学付属諏訪高等学校、あと1年半ですが、お世話になります。人生は競争の連続です。周りの人に支えられながら、思う存分競争をしてほしいと思います。娘が競争の結果獲得した蓄えを持ちながら笑顔で卒業できる時まで、私は時々腹を立てながら、もうしばらく日々眠気との戦いを送ろうと思っています。

「思いやりの心を持つ大切さ」

東北信区 町田 祐作

最近、インターネット等バーチャルな世界を経験する機会が増えてきています。また、コミュニケーションツールも「LINE」や「Instagram」など技術革新により大きく変化しています。このような時代だからこそ人に対する

思いやりの心を育むことがより一層大切になっていくと思います。では「思いやり」とは一体なんなのでしょうか。「思いやり」とはまず、相手の人を気にかける、関心を持つところから第一歩がはじまります。そして、次に相手の心(感情・望み・考え)を察する、想像する、相手のためを考える、相手の幸福を考える。そのようなことが思いやりの土台になると思います。第二のステップは、人に優しくする、人のためになることをする。人のためになることと、大変なことのよ

うに聞こえますがちょっとした一言、行動、親切が相手にとっては自分の考えている以上に喜びにもなり、また時として嫌な思いをさせることがあります。では、最後に「思いやり」を実践するためにはどうすれば良いのでしょうか? まずは小さな親切からはじめること。そして、相手が親切に「ありがとう」を言葉で伝えること。そうすることにより、お互いの思いやりの心を育むことができるのではないのでしょうか。「ありがとう」と言われて、嫌な気持ちになる人はいないと思います。毎日「ありがとう」を伝える習慣化することが大切だと思っています。相手の喜びを自分の喜びと感

じることのできる心の習慣が、周りの人を幸せにし、最終的に自分自身を幸せにすることではないでしょうか?



令和2年度茅野市 クリーンウォークに参加して

10月3日土曜日に実施された茅野市クリーンウォークに、本校から男子バレー部、女子バレー部、少林寺拳法部、男子バドミントン部、女子バドミントン部、男子サッカー部、男子テニス部、女子ソフトテニス部、陸上競技部の部員約130名が参加しました。朝8時20分に茅野市運動公園前駐車場に集合し、小口校長代理より激励の言葉を頂き、開始されました。毎年上川周辺の地域のボランティア活動として実施されており、生徒たちは茅野市運動公園から本校までの周辺のゴミ拾いを行いました。足元の悪い川沿い周辺のゴミも積極的に拾い集め、精力的に活動してくれました。茅野市運動公園内を歩き回ると、地域の皆様と挨拶をかわし、互いの活動を応援する姿もありました。普段から体を鍛えているたくましい部員たちのおかげで、可燃ゴミ20キログラム、不燃ゴミ10キログラムの合計30キログラムのゴミを拾い集めることができました。最後のゴミ収集まで生徒たち自身の手で収集・分別まで行い、責任感を持って取り組むことができました。最後にゴミ処理センターへゴミを運んだ際には、担当の方に、本校生徒はいつも一生懸命取り組んでくれているとお褒めの言葉も頂き、少しでも地域の貢献につながればと感じました。本年度はコロナ禍の影響で多くの行事を中止せざるを得ない状況となっていますが、いつまでも地域の皆様に応援して頂けるような存在となるよう、今後もボランティア活動をはじめ、地域貢献活動の一助となるよう取り組んでいけたらと思っています。改めて、今回参加して下さった部活動部員の皆さん、顧問の先生方、朝早くからご参加頂きまして、ありがとうございました。



夢テレビ トレンドイエエンジェルとの交流

「みなさんに元気になってもらいたい！」

「これから頑張る人に勇気を与えたい！」

「全国を笑顔で溢れさせたい！」

私たちチアリーディング部SUNRISE（サンライズ）は、みなさんに元気・勇気・笑顔を届けるために日々練習を重ねています。

例年、地元のお祭りやイベントや大会に参加させていただいていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響ですべてのイベントが中止、大会も延期、縮小となってしまいました。コロナで日本が落ち込んでいる今だからこそ、私たちの力で活気を届けたいのですが、なかなかその機会がなく、もどかしい日々を送っていました。そんな中、SBCの“夢テレビ”という番組に出演し、練習してきた演技を披露する機会を与えていただきました。

取材当日、応募した部員以外の生徒は取材があることは知らず、普段のように練習をしていました。突然大きなテレビカメラとトレンドイエエンジェルが入ってきたときは一同騒然としましたが、斎藤さんとたかしさんのリードで楽しい取材となりました。斎藤さんに第二子となる娘さんが誕生したということで、トレンドイエエンジェルのお二人が学校内を散策している隙に、サプライズ演技をプレゼントしようという話になり、急遽振り付けを考え、披露させていただきました。「見てくれる方に笑顔を！」という信念はどんな状況下でも変わりません。実際に、喜んでいただけて、その場が最高の笑顔で満たされたことは今でも忘れません。

取材の終盤、部員からトレンドイエエンジェルに「私たちは人に笑顔を届けることを目標に活動しています。笑顔を届ける仲間として何かアドバイスはありますか」と質問が投げかけられました。斎藤さんから「一番はやっている側が最高に楽しむこと」とアドバイスをいただきました。確かにその通りです。今後もたくさんの人に元気・勇気・笑顔を届けるために、まずは自分たちが笑顔で楽しむことを意識して活動してまいります。見ていただく機会がありましたら、一緒に楽しんでいただけたら幸いです。このような機会を与えていただき、協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。



かがやく部活動 栄光の記録

卓球部

長野県卓球選手権 兼 全日本(ジュニアの部)南信地区予選会 2020年8月31日
柳澤 亮汰 4回戦進出 全日本ジュニア県大会出場

男子バトミントン部

長野県高等学校総合体育大会代替大会(南信地区)2020年7月23日 団体戦 優勝

陸上競技部

長野県高等学校総合体育大会代替大会 兼
南信地区高等学校陸上競技大会 2020年7月24日~7月25日

個人戦

川口 祥延 100m 1位 11秒13
今井 頼人 200m 1位 22秒57
小坂 悠太 1500m 1位 4分08秒66
久保田凱士・今井頼人・遠山龍之介・川口祥延 4×100mR 1位 42秒54
小林 万莉 100m 1位 12秒88
小林 万莉 200m 1位 26秒83
小林 舞香 400m 1位 57秒98
小林 舞香 800m 1位 2分16秒40

田中凜・三澤百佳・中原希空・小林舞香 4×400mR 1位 4分01秒40

南信高等学校新人体育大会 陸上競技大会 2020年9月11日~9月13日

個人戦

河野 統徳 100m 1位 10秒95 県新人大会
河野 統徳 200m 1位 22秒69 県新人大会
小坂 悠太 800m 1位 1分56秒86 県新人大会
矢佐佑真・久保田凱士・今井頼人・河野統徳 4×100mR 1位 43秒40 県新人大会
窪田翔真・小坂悠太・久保田凱士・名取勇人 4×400mR 1位 3分29秒62 県新人大会
小林 万莉 100m 1位 12秒61 県新人大会
三澤 百佳 200m 1位 26秒48 県新人大会
三澤 百佳 400m 1位 57秒85 県新人大会
小口葉奈・三澤百佳・濱田みなと・小林万莉 4×100mR 1位 51秒04 県新人大会
小口葉奈・中原希空・田中凜・三澤百佳 4×400mR 1位 4分01秒40 県新人大会
団体戦 優勝(23チーム中) 団体戦 優勝(20チーム中)

長野県高等学校新人体育大会 陸上競技大会 2020年10月2日~10月4日

個人戦

河野 統徳 100m 3位 11秒25 北信越新人大会
小坂 悠太 800m 2位 1分56秒73 北信越新人大会
小坂 悠太 1500m 2位 3分54秒58 北信越新人大会
矢佐佑真・久保田凱士・今井頼人・河野統徳 4×100mR 2位 42秒99 北信越新人大会
窪田翔真・小坂悠太・名取勇人・久保田凱士 4×400mR 3位 3分27秒43 北信越新人大会
三澤 百佳 200m 3位 26秒13 北信越新人大会

三澤 百佳 400m 1位 57秒40 北信越新人大会
濱田みなと・三澤百佳・小口葉奈・小林万莉 4×100mR 1位 49秒18 北信越新人大会
小口葉奈・三澤百佳・田中凜・中原希空 4×400mR 3位 4分01秒63 北信越新人大会
団体戦 3位

水泳部

長野県高等学校水泳公認記録会 2020年7月24日

林 佑希人 200m自由形 6位 2:06.38
山岡 秀都 200mバタフライ 5位 2:20.31
畔蒜 雄大 50m自由形 34位 27.94
竹内 友寿 200mバタフライ 4位 2:17.34
丸山 慧 1500m自由形 5位 17:50.90
日達 珠愛 1500m自由形 4位 17:47.79
名取 一樹 200mバタフライ 13位 2:45.71
橋原 雪乃 200m個人メドレー 8位 2:47.51
林 美月 400m個人メドレー 5位 5:45.64
荒井 香名 400m 個人メドレー 2位 5:20.20

男子テニス部

全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会 "南信"地区予選 2020年8月5日

沖本蓮エリック Aブロック優勝 県大会出場

全国選抜高校テニス大会南信地区予選 2020年9月5日 第6位

長野県高等学校新人テニス選手権大会南信地区大会 2020年10月9日~10月12日

沖本蓮エリック・岡西連樹 ダブルス第5位 県新人大会出場

女子サッカー部

皇后杯JFA全日本女子サッカー選手権長野県大会 2020年7月23日 第3位

全日本高等学校女子サッカー選手権大会長野県大会 2020年8月30日 第3位

男子バスケットボール部

全国高等学校バスケットボール選手権大会 長野県予選会 2020年9月19日~21日 優勝

女子バスケットボール部

全国高等学校バスケットボール選手権大会 長野県予選会 2020年9月19日~21日 優勝

男子ハンドボール同好会

長野県高等学校新人体育大会 南信地区大会 2020年10月3日 3位

女子ハンドボール部

長野県高等学校新人体育大会 南信地区大会 2020年10月3日 優勝

演劇部

諏訪地区高校演劇合同発表会 2020年9月12日~13日 第2位

2019年度卒業生進路結果(2020年3月23日末日現在)

進路先	普通科			理数科			合計		総計
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子計	女子計	
東海大学	68	19	87	5	2	7	73	21	94
H T I C※	4	4	8			0	4	4	8
他大学	38	36	74	5	4	9	43	40	83
他短大	1	17	18			0	1	17	18
専門	31	31	62	1	1	2	32	32	64
就職	13	8	21			0	13	8	21
留学			0			0	0	0	0
未定	2	2	4	1	1	2	3	3	6
合計	157	117	274	12	8	20	169	125	294

※:ハワイ東海インターナショナルカレッジ

大学・短大	学部	普通科		理数科		合計		総計
		男子	女子	男子	女子	男子計	女子計	
東海大学	文学部	4	1	1		4	1	5
	文化社会学部	5	4			5	4	9
	政治経済学部	5	1			6	1	7
	法学部	3				3		3
	教養学部	4				4		4
	体育学部	6	2			6	2	8
	健康学部	1	1	1		1	1	2
	理学部	1		2	1	1		1
	情報理工学部	7	1			8	1	9
	工学部	21	3			23	4	27
	観光学部	1	4			1	4	5
	情報通信学部	1		1	1	1		1
	海洋学部	5	1			5	1	6
	医学部(医)					1	1	3
	医学部(看護)		1					1
	基盤工学部	2		5	2	2		2
国際文化学部	2				2		2	
小計	68	19	4	5	73	21	94	
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	4	4			4	4	8	
総計	72	24	5	2	77	26	102	

主な進学先

【主な他大合格先】

信州大学, 公立諏訪東京理科大学, 明治大学, 法政大学, 津田塾大学, 中央大学, 立命館大学, 近畿大学, 専修大学, 國學院大学, 芝浦工業大学, 工学院大学, 日本大学, 千葉工業大学(4), 東京家政大学, 名城大学, 中京大学, 順天堂大学, 玉川大学, 白鷗大学, 大東文化大学, 日本福祉大学, 中京学院大学, 名古屋経済大学, 拓殖大学, 関東学院大学(2), 山梨学院大学, 国立音楽大学, 新潟医療福祉大学(2), 武蔵野大学, 金城大学, 淑徳大学, 上武大学, 東京女子体育大学, 長野保健医療大学(2), 松本大学(6)ほか, 長野県福祉大学校(5), 松本短期大学(6), 信州豊南短期大学(2), 飯田女子短期大学(2), 戸板女子短期大学, 松商短期大学, 山梨学院短期大学, 横浜女子短期大学, 淑徳短期大学

【主な専門学校】

長野県福祉大学校(5), エプソン情報専門学校(5), 諏訪中央病院看護専門学校, 佐久総合病院看護専門学校, 横浜労災病院看護専門学校, 社会医学技術学院, 松本歯科大学衛生学院, 北里大学保健衛生専門学院, 長野県農業大学校, 大原学園松本校(5), 八王子工学院専門学校, 東京法律専門学校, 東京医薬専門学校, 静岡医療学園専門学校, 松本技術専門学校

【主な就職先】

佐久総合病院, 昭和伊南病院, セイコーエプソン, 長野オリンパス(3), TPR(帝国ピストンリング), IHI エアロマニュファクチャリング(社福) サンビジョン, ホムズ技研, KOA, 自衛官(2)